

令和6年度 座間支援学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
1. 法令遵守意識の向上（わいせつ事案等公務外非行防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・わいせつ事案等公務外非行の防止を徹底する。 ・円滑なコミュニケーションを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止研修会等でわいせつ事案等公務外非行を注意喚起し、公務員としての規律・義務（コンプライアンス）を周知し、サービスの徹底を図った。 ・職員同士のコミュニケーションが活発な、風通しの良い職場づくりを推進した。
2. 職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の人権を守り、ハラスメント行為の根絶を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントに関するアンケート調査結果をもとに協議を行い、ハラスメントを起こさないために私たちにできることは何かを考えた。 ・職員研修など人権を意識する機会を持った。
3. 児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の人権を守り、適切な指導の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒との適切な距離感や呼称などに留意するとともに、良質な同僚性を発揮し、児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を未然に防いだ。
4. 体罰・不適切な指導の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の実態をおさえた、体罰によらない適切な指導を徹底する。 ・児童・生徒の人権を尊重した指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権を尊重した指導を徹底した。 ・同僚性を高め、体罰を許さないという環境整備に努めた。 ・人権を意識した児童・生徒へのかかわりについての不祥事防止研修会等を実施した。
5. 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・個別教育計画や進路関係書類、入学選抜に関する書類等を適切に管理する。また誤配付など事故防止を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダブルチェック体制を機能させることの重要性を周知し、取扱者、管理者間で、書類の流れ等チェック体制を随時確認した。 ・書類の取り扱いでは、特に誤配付防止について各学部での取り組みを共有し合った。
6. 個人情報の管理、情報セキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深め、個人情報の流出等に係る不祥事を防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報管理の規則遵守を改めて確認し、情報の重要度とそれに応じた取扱いについて確認した。 ・著作権（イラストの利用）について注意喚起を行った。

7. 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運防止、交通法規の遵守	・交通法規を遵守し、「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を徹底し、酒酔い、酒気帯び運転の根絶を図る。	・交通事故・違反等の防止、特に自転車について「ながら運転」や「酒気帯び」の罰則強化についての研修会を実施した。 ・軽微な違反もしないという高いコンプライアンス意識を醸成した。
8. 私費会計に係る事故防止	・現金での扱いを極力なくし、適正な執行により、会計に係る不祥事を防止する。	・チェックリストを活用して、会計事務にかかる諸規程の遵守、予算の計画的な執行及び複数による確認等の徹底により、不適正経理の防止に努めた。 ・会計システムについて学校全体で確認し、事故のない扱い方を徹底した。
9. 人権意識の向上	・人権意識を高める	・多様な性のあり方に関する配慮について、児童・生徒の指導場面に即して考える機会を持った。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

不祥事ゼロプログラムを概ね年間計画に則り実施し、今年度も不祥事ゼロの目標を達成することができた。毎月の不祥事防止研修会にあっては、各学部や分掌グループの職員がそれぞれテーマを分担し講師となり、パワーポイント資料を自作したり、既成の啓発資料を活用したり、同僚同士で話し合う時間を設けたりするなどの工夫を行い、短時間ながらコンパクトでインパクトのある研修を積み重ねてきた。今後も、あらゆる不祥事の防止について、職員一人ひとりが当事者意識を高めながら「自分事」として考え、行動する気風を醸成していきたい。